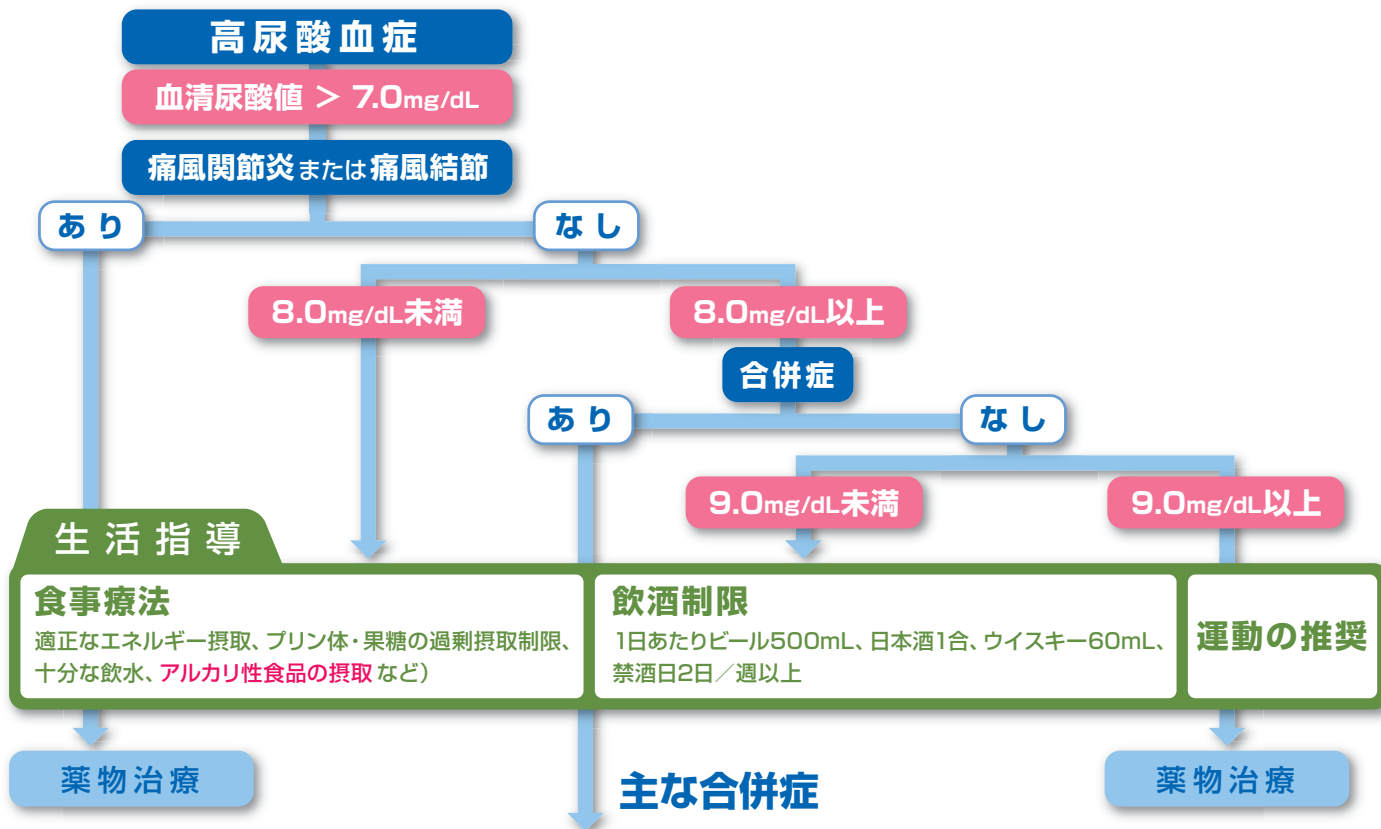


ガイドラインを実地診療に活かすためのフローチャート



腎障害

腎機能障害	尿酸降下薬
中等度以上	尿酸生成抑制薬あるいはアロプリノールとベンズプロマロンの少量併用

+

尿アルカリ化薬を考慮*1

CKD診療ガイド2009参照

尿路結石

(第一選択薬) 尿酸生成抑制薬

+

尿量確保 / 尿アルカリ化薬

尿路結石症診療ガイドライン参照

*1: 尿アルカリ化薬にはナトリウムやカリウムが含まれるため、重度の腎機能障害例では好ましくない。

高血圧*2

血圧管理優先
降圧薬の血清尿酸値に及ぼす影響を考慮

8.0mg/dL未満 / 8.0mg/dL以上

尿酸降下薬 (病型分類に準拠)

+

尿アルカリ化薬

6.0mg/dL以下を目標

高血圧治療ガイドライン2009参照

脂質異常症

動脈硬化性疾患
予防ガイドライン2007に準拠した薬物治療

+

尿酸降下薬 (病型分類に準拠)

+

**尿量確保
尿アルカリ化薬**

尿路管理については
メタボリックシンドロームに準じ、
肥満症治療ガイドライン2006参照

メタボリックシンドローム*3

個々の合併疾患に対する薬物療法

+

尿酸降下薬 (病型分類に準拠)

+

**尿量確保
尿アルカリ化薬**

肥満症治療ガイドライン2006参照

*2: 低い尿pHを示すことが多い

*3: 尿路結石の合併率が高い